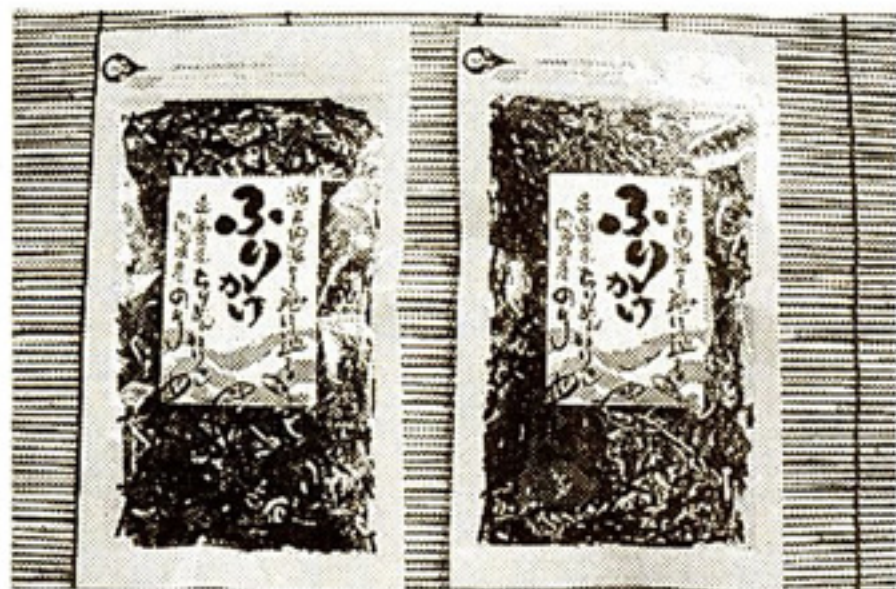


## ちりめん使いふりかけ

【広島】食品卸の中島商店（広島県福山市、中島良昭社長）は福山市の特産品であるのりや、小魚のちりめん、いりこを使ったふりかけ「瀬戸内海を駆け巡るふりかけ」を商品化した＝写真。ちりめんやいりこは温暖で穏やかな気候である瀬戸内の漁場で育つため、身がやわらかく、うまみが強いという。いりこは削り節にして子供でも食べやすくした。商品の裏には、削り節など福山の食品やその歴史を紹介するシールも張った。

1袋60g入りで、希望小売価格は390円。6月22日から中島商店



で販売するほか、福山市内の道の駅やバスセンターでも取り扱う。商品開発を担当した中島基晴専務は「親子で一緒にふりかけを食べながら、福山の食品やその歴史をもっと知ってほしい」と話している。